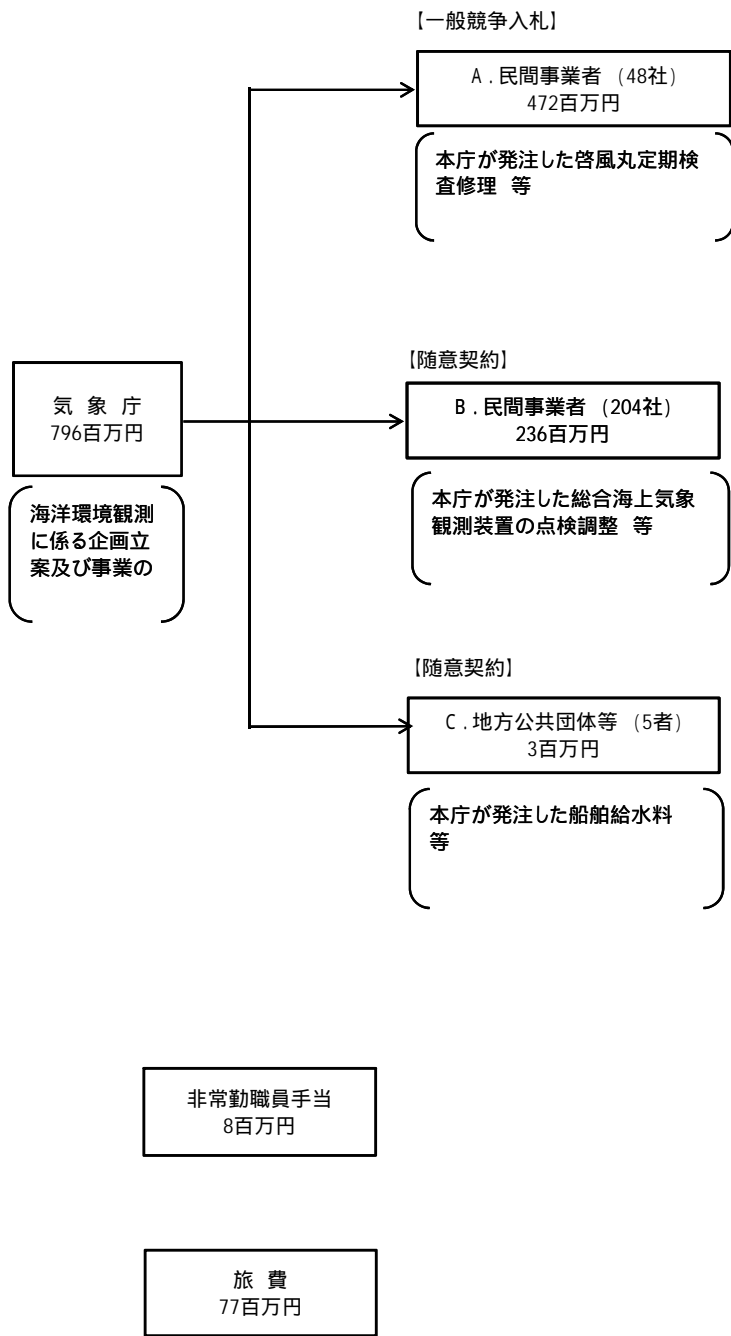


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海洋環境観測		担当部局	気象庁地球環境・海洋部			作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～		担当課室	海洋気象課			課長 安藤 正
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第13条、第14条、第15条、他) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(第46条) 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(第22条) 地球温暖化対策の推進に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	「京都議定書目標達成計画」(平成20年3月28日改定案閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海洋における温室効果ガス、汚染物質及び水温、水質等の実態を把握し、地球温暖化予測精度向上や地球温暖化対策の策定に貢献する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化や海洋汚染等の地球環境問題に対処するため、海洋気象観測船により、陸上に比べて観測データの乏しい海洋における温室効果ガスや汚染物質等の実態を高精度の海洋観測により把握することにより、二酸化炭素の海洋への吸収量・蓄積量及び世界の気候に影響を与える海洋深層循環の変動を把握する。また、海上の気象観測や、水温、塩分、海流、化学成分等の実況把握を通じ、北西太平洋の海洋の循環を把握し、海洋が気候変動に与える影響について解明を図る。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	729	1,455	911	677	724
		補正予算	70	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	799	1,455	911	677	724	
	執行額	793	1,444	796			
執行率(%)	99.2%	99.2%	87.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (19-23年度)
	地球環境に関する気象情報について、平成19年度から平成23年度までの各年度に3件の改善または新規の情報提供を行う。			成果実績	7	9	11
			達成度	%	47	60	73
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	観測船による海洋観測点数 (各層観測、表層水温観測等)			成果実績 (当初見込み)	1,353	1,352	920 (883)
	観測船による海洋観測種目の数 (観測業務規程の分類)		成果実績 (当初見込み)	種	26	26	26 (26)
単位当たりコスト	865 (千円/点)		算出根拠	H22執行額 / H22観測船による海洋観測点数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	12	14	・中層フロート増に伴うデータ処理サービス費の増(18台→24台)1百万円			
	職員旅費	24	24	・船令に伴う船舶修繕費の増3百万円			
	航海日当食卓料	56	56	・燃料費高騰に伴う船舶燃料単価の見直し44百万円			
	観測予報庁費	97	97	・陸電契約の見直しによる減 2百万円			
	船舶運航費	486	531				
	土地建物借料	2	2				
	計	677	724				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・世界気象機関(WMO)やユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)等の枠組みの下、全海洋をカバーする高精度の二酸化炭素観測網を構築し、統一的な観測データベースを作成する取組みが進められており、気象庁の観測定線は、この国際観測網の一部として位置づけられている。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・平成22年4月 二酸化炭素観測に重点を置いた高精度海洋観測を開始。 ・平成23年4月 大気-海洋間の二酸化炭素交換量の対象領域を北西太平洋及び太平洋赤道域から太平洋全域に拡大するとともに、北西太平洋の人為起源二酸化炭素蓄積情報を公開。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・我が国周辺海域の温室効果ガスの挙動や汚染物質及び水質を高精度で把握するには、特別な設備及び分析装置により実際の海水を分析できる観測船を用いる以外にはなく、観測船による観測が必要不可欠である。 ・平成22年度は、更なる効率的な運航の実施を図るなどコスト縮減に努めた。また、その運航実績を踏まえ平成23年度予算に反映させた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		観測船の効率的な運航の実態を踏まえたコスト縮減が図られた。 引き続き、適切に業務を遂行するとともに、調達方法の最適化を図りコスト縮減に努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		・燃料費高騰に伴う船舶燃料単価の見直し等により増額。 ・チームの所見を踏まえ、引き続き、適切に業務を遂行するとともに、調達方法の最適化を図りコスト縮減に努める。	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)サノヤス・ヒシノ明昌			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	啓風丸定期検査修理	62			
計		62	計		0
B.光進電気工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	啓風丸・凌風丸総合海上気象観測装置の点検調整等	10			
計		10	計		0
C.東京都水道局			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
光熱水料	船舶給水料	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サノヤス・ヒシノ明昌	啓風丸定期検査修理	62	3	98.99
2	(株)アイ.エイチ.アイ.マリ ンユナイテッド	凌風丸第二種中間検査修理	58	5	84.62
3	鈴与商事(株)	A重油購入	40	3	93.98
4	昭和礦油(株)	A重油購入	32	8	98.6
5	カメイ(株)	A重油購入	24	4	94.2
6	三興通商(株)	中層フロートの購入 等	21	3	67.64
7	伊藤忠エネクス(株)	A重油購入	21	5	96.6
8	(株)曲小倉工務店	函館海洋気象台庁舎改修工事	19	4	82.77
9	全国漁業協同組合連合会	軽油購入	18	2	89.92
10	日通商事(株)	A重油購入	13	6	95.05

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	光進電気工業(株)	啓風丸・凌風丸総合海上気象観測装置の点検調整 等	10	随意契約	
2	鈴与商事(株)	A重油購入	10	随意契約	
3	(株)イーエムエス	エバークリップ(8.1mm 用)ほかの購入 等	8	随意契約	
4	(株)吉野計測	ジメチルホルムアミド他の購入 等	7	随意契約	
5	オリエンタルマリンサービス (株)	オイルリング他の購入 等	6	随意契約	
6	(株)アイ.エイチ.アイ.マリ ン	凌風丸食堂製氷機新替え修理 等	5	随意契約	
7	(株)離合社	標準海水(炭酸系パラメータ分析用)の購入 等	5	随意契約	
8	(株)スタピロ	「啓風丸」減揺水槽装置の改修	4	随意契約	
9	第一商事(株)	ハイモール他の購入 等	4	随意契約	
10	日本かつお・まぐろ漁業協 同(株)	気象庁観測船の外国寄港における手続き代行(単価契約) 等	3	随意契約	

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都水道局	船舶給水料	1.5	随意契約	
2	東京都東京港管理事務所	有明係船場1敷地等借料 等	0.9	随意契約	
3	神戸市みなと総局	船舶給水料	0.06	随意契約	
4	函館市会計管理者	啓風丸給水施設使用料(函館港) 他	0.04	随意契約	
5	長崎港湾漁港事務所	長風丸陸上電源及び給水設備敷地借料	0.01	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					